

「老中八策」 尊厳ある「高齢期人生」を送るための指針はこれ！

「老中八策」 尊厳ある高齢期人生を送るための指針

- 一 六五歳から九〇歳までの二五年を他力依存でなく過ごすため「自立意識」を確立中
 - 二 「引退余生」でなく「現役長生」で社会参加を続けながら「高齢期人生」を実現中
 - 三 培ってきた知能技能を活かして高齢期の暮らしを豊かにする「優れモノ」を制作中
 - 四 体(≧病気)・志(≧認知症)・行(≧介護) 三つのバランスで「包括ケア」を体現中
 - 五 「三世代(青少年～三〇歳 中年～六〇歳 高年～九〇歳+) 現役型」社会を創出中
 - 六 日また一日欠かさずに出で「地域生活圏」(「助け合い」の文化圏)の形成に参加中
 - 七 高齢者がつどう「居場所」でそれぞれの自己目標をみんなで論じて解決策を協議中
 - 八 水玉模様のような小さな会に加わり 各地各界の仲間同士と成果を分け合い連携中
- 注：「自立・参加・ケア・自己実現・尊厳」(高齢者五原則)は国連が提唱する国際的指針。

丈風の会 2015・1・1+2015・9・15